学科名			学年		授業のタイトル(科目名)		
工業専門課程デジタルクリエイター科授業の種類		ター科	2 授業担当者		コミュニケーション技法 実務経験		
		授美					
✓ 講義	□ 演習 ✓ 実	習 山	田祥子		● 有		無
[実務経験歴	<u>[</u>]	•		•			
・メーカー	において、自社EC	ンサイトの要件定義~デ	ザイン〜制作	、保守、			
Google A	nalyticsによるWe	bページのアクセス解析	f、SNSやブ	ログによる	情報発信な	どを担当。	
・フリーラ	ンスとして、ECサ	イトやLP、コーポレー	トサイトにつ	ついて上記「	司様職務を	担当。	
	授業の回数)	時間数⊠		配当時期		<u>必修・</u>	
2 単位	`	60 時間	○ 前期	○ 後期	● 通年	○ 必修	選折
[授業の目的							
①就職活動に	こむけてのコミュニケ	Γ ーション					
②就職後を想	限定したコミュニケー	ーション					
授業全体の)内容の概要]						
1							
_							
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
2,22,10,10,10							
就職活動~	就職後も自信をも	って社会生活を潤滑にて	できること				
[準備学習の)具体的な内容]						
授業でやった	た内容を復習してこ	おくこと。					
[使用テキス	()		[単位認	定の方法及	び評価の基	[準]	
使用テキス	٢		定期試験	と出席日数の	両方が次の規!	定に達した場合に	
ホームページ	ジ、PDF教材		・試験の点				認定する。
参考文献				「数は60点以」	上を合格点とす	たる。	認定する。
					Lを合格点とす 以上の出席が必	- 0	認定する。
必安に応し	マ短業の中で知会:	+ 7	評価基準	数の4分の3以	以上の出席が必	必要。	
「技業を口む	て授業の中で紹介	<u> </u>	評価基準	数の4分の3以	以上の出席が必	- 0	
	と各回のテーマ・	内容・授業方法]	評価基準	数の4分の3以	以上の出席が必	必要。	
1回 就職	と各回のテーマ・ 戦活動におけるコミ	内容・授業方法]	評価基準	数の4分の3以	以上の出席が必	必要。	
1回 就職	と各回のテーマ・	内容・授業方法]	評価基準	数の4分の3以	以上の出席が必	必要。	
1回 就職 2回 就職	と各回のテーマ・ 戦活動におけるコミ	内容・授業方法] ミュニケーション ミュニケーション	評価基準	数の4分の3以	以上の出席が必	必要。	
1回 就職 2回 就職 3回 就職	と各回のテーマ・ 数活動におけるコミ 数活動におけるコミ	内容・授業方法] ミュニケーション ミュニケーション ミュニケーション	評価基準	数の4分の3以	以上の出席が必	必要。	

5回 就職活動におけるコミュニケーション

6回	就職活動におけるコミュニケーション
7回	就職活動におけるコミュニケーション
8回	デザイン思考におけるコミュニケーション
9回	デザイン思考におけるコミュニケーション
10回	デザイン思考におけるコミュニケーション
11回	デザイン思考におけるコミュニケーション
12回	デザイン思考におけるコミュニケーション
13回	デザイン思考におけるコミュニケーション
14回	デザイン思考におけるコミュニケーション
15回	デザイン思考におけるコミュニケーション
16回	メディアを活かしたコミュニケーション
17回	メディアを活かしたコミュニケーション
18回	メディアを活かしたコミュニケーション
19回	メディアを活かしたコミュニケーション
20回	メディアを活かしたコミュニケーション
21回	メディアを活かしたコミュニケーション
22回	メディアを活かしたコミュニケーション
23回	メディアを活かしたコミュニケーション
24回	ビジネス上でのコミュニケーション
25回	ビジネス上でのコミュニケーション
26回	ビジネス上でのコミュニケーション
27回	ビジネス上でのコミュニケーション
28回	ビジネス上でのコミュニケーション
29回	ビジネス上でのコミュニケーション
30回	ビジネス上でのコミュニケーション